

【基本方針】

「満足度の高い認知症介護サービスの提供」

「コロナ禍における安定した事業所運営」

【年間目標】

- ① 利用者満足度の高い、良質なサービスの提供
- ② 地域に寄り添った事業所作り
- ③ 働きやすく、やりがいのある職場環境を整え、離職率の低下を図る
- ④ ユニットリーダー、主任など中核となる職員の育成
- ⑤ 目標稼働率97%を目指す

【実践報告】

① 利用者満足度の高い、良質なサービスの提供

- ・新型コロナウイルス感染症対策に関して、法人で決めた対応基準に沿って感染症予防に努め、感染拡大による面会中止時の代替策として、オンライン面会や窓越し面会を実施した
- ・接遇に関しては、グループホーム内に設置した接遇委員会において、職員の接遇全般に関して、個人評価、委員会評価を毎月実施。定期的な評価や振り返る機会を持つことで、職員の言葉遣いに対する意識の向上に繋げることが出来た
- ・感染症に関しては、インフルエンザ罹患者は無し。新型コロナウイルスの感染者は、職員家族が3名罹患。罹患後の勤務停止により、勤務調整を要したが、保健所、法人の指示通りの対応が出来た
- ・チームケアの実施に関しては、毎週のユニットミーティング時や毎月の部署会議時に、支援内容を話し合う機会を持った
- ・職員のスキルアップに関しては、毎月の会議の中での勉強会を開催し、基本的な介助方法や感染症、認知症ケア、権利擁護などの内容を行った。また、外国人スタッフに対して、自己学習の時間を活用し、漢字の小テストを実施し漢字の書き取りの習得に努めている
- ・定期的なサービスの評価に関しては、9月に第三者評価を受審し、ワムネット上で公表をしている

② 地域に寄り添った事業所作り

- ・運営推進会議は、2ヶ月に1回開催をしたが、新型コロナウイルス感染予防の為、集合しての開催は12月のみとなった
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域行事は中止となり、地域との関わりを持つ機会が少なかった。また、法人主催の夏祭りなどの行事も中止となり、地域との交流、ご家族との交流の機会も少なかった。地域ケア会議や、介護医療サポートセンターなどの研修に管理者が参加をし、地域の関

係職種との関わりは持つことが出来た

③ 働きやすく、やりがいのある職場環境を整え、離職率の低下を図る

- ・令和3年度の退職者は合計4名であり、うち2名は体調が理由で退職となった。年2回の面談、適宜悩み事を聴き取ることで、仕事に対する不安をできる限り払拭するよう努めた。また、人事考課制度を活用し、個人の能力を適正に評価できるよう心掛けた
- ・令和3年10月よりEPAによる外国人労働者2名が就業。介護福祉士資格取得を目標に日本語学習をしながら業務に就いている。日本語習熟度は2名間でも差はあるが、個人の能力に合わせた教育を行っている
- ・年度途中より業務で使用している日誌や各種様式の見直しを行い、業務の効率化を図るとともに、Wi-Fiルーターの入れ替えを行うことで、ネットワーク環境の改善に努めた

④ ユニットリーダー、主任など中核となる職員の育成

- ・令和3年度は主任に推薦する職員はいなかったが、ユニットリーダーに対して、ユニット職員を取りまとめる為の指導を継続して行った

⑤ 目標稼働率97%を目指す

- ・令和3年度の稼働率は98.3%であった。入院延べ日数が88日、空床日数が26日と前年度に比べ少なく、目標稼働を達成する事ができた

令和3年度月別稼働状況													
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
平均利用人数	17.4	17.6	17.3	17.7	18	18	17.9	17.1	17.2	18	18	18	17.7
平均稼働率	96.9	97.7	96.3	98.4	100	100.0	99.5	95.0	95.5	100	100	100	98.3

【苦情受付】0件

【神戸市への事故報告】0件